

宗像市の維持向上すべき歴史的風致

計画期間
平成30年度（2018）～平成39年度（2027）

宗像市は、福岡市と北九州市の両政令指定都市の中間に位置し、北は玄界灘に面し、三方を山に囲まれ、中央を釣川が貫流する地理的条件や自然環境に恵まれた都市である。歴史的には、大陸との対外交流を進めるヤマト王権によって4世紀後半から沖ノ島ではじめられた国家的祭祀への関わりをきっかけに繁栄を築いていった。その後、宗像大社（沖津宮・中津宮・辺津宮）の祭祀が成立したと考えられており、沖ノ島で発掘された対外交流を象徴する銅鏡、武器、馬具などの出土品8万点が国宝に指定されている。そして平成29年、『神宿る島』宗像・沖ノ島と関連遺産群として世界文化遺産にも登録された。宗像大社の祭礼は形を変えつつ受け継がれ、漁村集落や農村集落の暮らしにとけこんだ行事として今もなお息づいており、この人々の活動と歴史上価値の高い建造物及びその周辺地域とが一体となって本市を代表する歴史的風致を形成している。本計画は、このような歴史的風致の維持・向上を図り、これを後世に継承することを目的として策定するものである。

1. 宗像大社ゆかりの歴史的風致

宗像大社は沖ノ島の沖津宮、大島の中津宮、九州本土の辺津宮の三宮の総称。全国で約6,400社ある宗像三女神を祀る神社の総本社であり、航海安全だけでなく、すべての道の守護神として全国的に広く信仰を集めている。みあれ祭をはじめ、古式祭、七夕祭など年間約40もの祭事が行われており、その繁栄を垣間見ることができる。



みあれ祭の様子

2. 宗像の浦々にみる歴史的風致

宗像地域の近海は古来より漁業資源に恵まれており、鐘崎や神湊、大島、地島では現在も多くの人が漁業を生業としている。

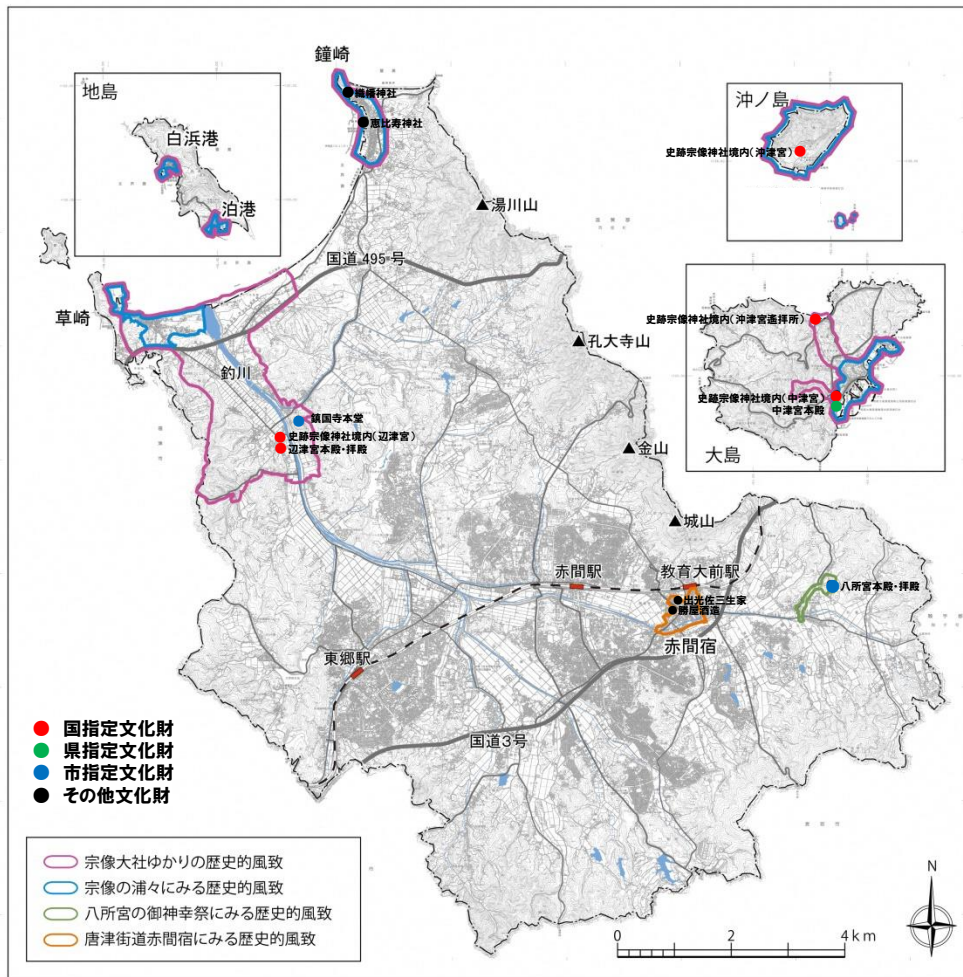
これらの地域では日々の暮らしの中に豊漁と航海安全を祈り、感謝を捧げる様々な神々がいて、その信仰や風習が今も息づいている。



年中飾られる注連縄



織幡神社春季大祭



3. 八所宮の御神幸祭にみる歴史的風致

吉武地区の八所宮の御神幸祭は、神社と地域の人々が一体となって里の恵みに感謝し五穀豊穡を祈る祭りであり、その周辺に広がる田園風景と農村集落のまちなみが一体となったこの地域独自の歴史的風致を形成している。



参道を進む御神幸行列

4. 唐津街道赤間宿にみる歴史的風致

江戸時代に宿場町として栄えた赤間宿では、酒造りなどの生業や、赤間祇園祭やあびす祭をはじめとする季節ごとに行われる様々な祭事も継承されており、これらの光景は唐津街道を背景として発展した宿場町の面影と当時の人々の思いの一端を伝えるものである。



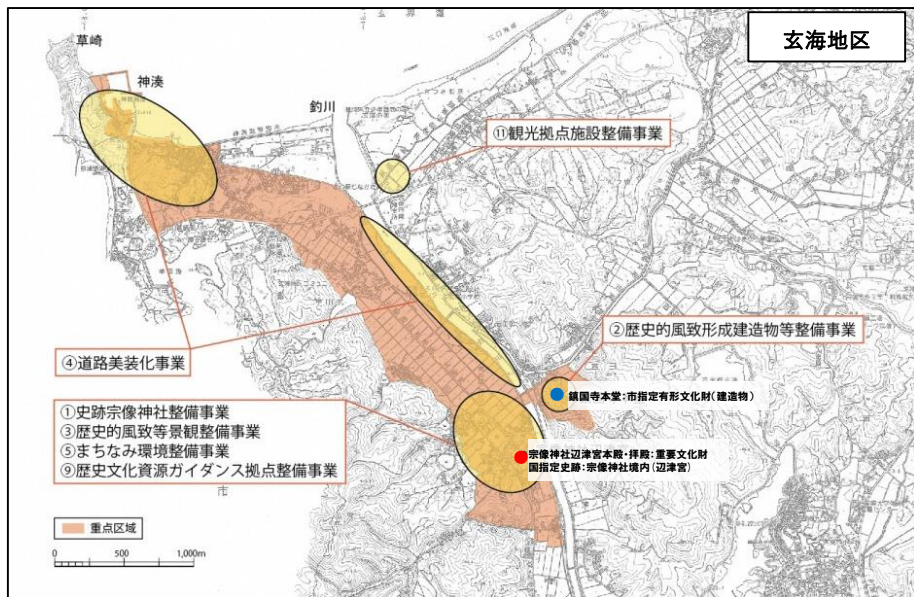
赤間あびす座

宗像市の重点区域における施策・事業概要

重点区域の名称と面積

宗像市歴史的風致維持向上地区 約 260ha

(沖ノ島地区：約2ha、大島地区：約28ha、玄海地区：約230ha)



【宗像市全域を対象としたソフト事業】

- ⑥ 無形民俗文化財等調査支援等事業
- ⑦ 歴史文化資産継承支援事業
- ⑧ 歴史文化基本構想策定事業
- ⑩ 歴史文化資産普及啓発事業
- ⑫ 観光受入環境整備事業
- ⑬ 地域活性化支援事業

- 国指定文化財
- 県指定文化財
- 市指定文化財

ア 歴史的風致建造物の保存・活用に関する事業

① 史跡宗像神社整備事業

史跡宗像神社境内にある建造物や広場などの整備・修理を行うほか、歴史的建造物の防災対策や防犯対策を図る。



辺津宮本殿

② 歴史的風致形成建造物等整備事業

歴史的風致を形成する建造物等の修復や修景、を行い、歴史的風致形成建造物等の周辺環境整備を行う。



鎮国寺本堂

イ 歴史的建造物を取り巻く環境の保全・再生に関する事業

③ 歴史的風致等景観整備事業

良好な景観を形成するため、無電柱化、道路附属物等の修景、便益施設等の整備、景観阻害要因の除去等の整備を行う。



辺津宮

④ 道路美装化事業

鐘崎や神湊、大島等の市道の美装化を実施し、回遊性とまちなみ景観の向上を図る。



大島の市道

ウ 歴史や伝統を反映した人々の活動の支援・継承に関する事業

⑦ 歴史文化資産継承支援事業

地域の伝統行事の継承に取り組む組織と連携協力しながら継承者の発掘、育成や、祭礼等に使用する道具の修理等の必要な支援を行う。



しめ縄づくり

エ 歴史文化資産の調査研究と普及啓発に関する事業

⑨ 歴史文化資源ガイダンス拠点整備事業

宗像大社辺津宮に隣接する敷地において、既存文教施設等の周辺環境への調和とその諸機能の再配置を行うとともに、世界遺産の総合的なガイダンス機能を担い、調査研究と公開活用を連携して行う拠点施設の整備を行う。